

# 用語解説

## あ行

### ■IT

情報技術。インターネット、通信、コンピュータなど情報に関する技術。

### ■青色回転灯パトロールカー

地域の自主的な防犯活動団体が、パトロールをするために使用する青色回転灯を装着した車両のこと。本市での活動は、全国的にも先進的である。

### ■新しい公共

これまで行政が担ってきたまちづくりや福祉、教育などの分野で、市民や市民活動団体、事業者などが主体となって公共サービスを提供する仕組みのこと。

### ■アンテナショップ

消費動向やどんな商品が売れるかなどの情報収集を目的につくられたメーカーや問屋の直営店のこと。

### ■イノベーション

産業分野における技術革新のこと。

### ■雨水貯留浸透施設

雨水を貯留し、水資源として活用するための施設、及び、ろ過して効率よく大地に浸透させる施設。これを設置することにより、河川・下水道への負担軽減や、都市における浸水被害の緩和、雨水の有効活用が期待される。

### ■エコステーション

資源物の回収量の増加を図るため、地区の集積場とは別に設置された専用集積場のこと。

### ■NPO

民間非営利団体。自発的、継続的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない民間の組織のこと。

### ■オープンスペース

公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地、あるいは敷地内の空地の総称。

### ■温室効果ガス

大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがある。これらのガスを温室効果ガスという。産業革命以降、温室効果ガスの大気中の濃度が人間活動により上昇し、温室効果が加速されている。京都議定書では、地球温暖化防止のため、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン3ガス（ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄）が削減対象の温室効果ガスと定められた。

## か行

### ■開発行為

都市計画法でいう開発行為とは、主として建築物の建築、また特定工作物の建築の用に供する目的で行う土地の区画形質の変更のこと。

### ■環境負荷

人間の活動によって引き起こされる、環境に与える負担のこと。

### ■緩和ケア

身体的な苦痛や気持ちのつらさなど、その人の苦痛を少しでも和らげるためのサポー



トを行い、その人らしい生活を送れるようにするためのケア。患者の治療の開始から患者の死別した後の家族へのケアも含む。

### ■基幹病院

救急医療をはじめ地域医療の要となる医療機能を確保した病院のこと。

### ■既存ストック

既に整備されている公共資本。

### ■旧市街地

古くから市街地を形成してきた地域。

### ■共助

自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。自分たちの地域は自分たちで守るということ。

### ■京都議定書

平成9年(1997年)に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)」において採択された議定書。先進各国等の温室効果ガスの排出量について、法的拘束力のある数値約束が決定された。また、国際的に協調して目標を達成するために、温室効果ガスの排出量取引等の仕組みが合意された。

### ■近代化産業遺産

わが国の産業の近代化に大きく貢献したもののについて経済産業省が認定するもの。本市では、四日市港にある「潮吹き防波堤」と「末広橋梁」が、国の近代化産業遺産として平成21年2月23日に認定された。

### ■公共資本

公立病院、市立図書館、公園など公共事業によって供給される施設。

### ■交通弱者

車の運転ができない人や、高齢者や障害者、子どもなどの移動手段を持たない人。

### ■高付加価値型産業

高度な技術や高品質の商品など、付加価値の高い産業。

### ■国際ゲートウェイ

国際的な拠点となる港湾、空港。

### ■国際産業ハブ港

名古屋港とともに、コンテナ貨物のみならず、バルク貨物、完成自動車も含めた総合港湾として、アジアの成長を取り込み、我が国の経済と産業の成長を牽引する「国際産業ハブ港」の実現を目指している。

### ■コミュニティスクール

保護者や地域住民等が一定の責任を持って学校運営へ参画することにより、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい学校づくりの実現に取り組むことをねらいとする制度。平成16年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)が法定制度となり、学校運営協議会委員は、教職員の採用・任用について任命権者に意見を述べるができるようになった。本市では、任命権者に教職員の採用・任用等に意見を述べる権限を付与せず、校長に述べることとしているなど、国の制度と異なる部分があることから、「四日市版コミュニティスクール」と名づけ、「学

校づくり協力者会議」のより進んだ形態の組織として位置づけている。

### ■コミュニティバス

交通不便地区や高齢者等の日常行動を支援するために、小回りのきく小型バスを用いてきめ細かなサービスを行う地域密着型のバスのこと。

### ■コンテナ化

昭和40年代に入ってまもなく、従来の海上輸送方式の考え方を打ち破る輸送方式として、海上コンテナがはなばなしく登場し、四日市港では昭和44年8月に本港に羊毛を運ぶ豪州航路がコンテナ化されることになり、この受け入れのため四日市地区の第3埠頭に暫定コンテナ基地を整備したことにより始まる。その後、専用コンテナ埠頭、公共コンテナ埠頭が整備され、現在に至っている。

### ■コンテナターミナル施設

コンテナ運送方式における海上輸送と陸上輸送の接点であり、港頭に位置し本船荷役はもちろん、コンテナの蔵置、コンテナ並びにコンテナ荷物の授受、これに要する各種荷役機械の管理等をつかさどる一連の施設をもった地域をいう。

### ■コンパクトシティ

都市の無秩序な拡散を防止し、「住む」「働く」「集う」など、様々な諸活動を中心市街地や拠点駅周辺に集積させ、移動そのものの需要抑制等により、環境負荷を低減し、誰もが暮らしやすい活力ある都市を目指そうとする考え方。

### ■コンパクトなまちづくり

市街地を拡大せずに既存の市街地を有効に活用して、歩いて暮らせる環境や職住近接など効率的なまちづくりを図っていくこと。

## さ 行

### ■災害時要援護者

災害発生時に、自力での迅速な避難が困難な人。環境の変化への対応が難しい場合が多く、災害発生時にはその人の状態に応じた配慮や支援が必要となる。

### ■在宅介護支援センター

高齢者とその家族に対して、介護保険や介護保険以外のサービスを総合的に紹介・調整する身近な相談窓口。平成12年の介護保険制度創設前から整備に取り組み、本市の福祉政策の基軸となっている。

### ■産業観光

歴史的価値のある過去の産業文化財から現在稼働中の生産現場や地域の製品・産物まで、地域のあらゆる産業を対象とした観光の新しい取り組み。単なる産業遺産や工場の見学、工芸品や農業の体験に留まらず、これらの見学や体験を通じて、その地域の成り立ち・生活・文化を感じてもらうことが期待されている。

### ■COD（化学的酸素要求量）

[Chemical Oxygen Demand]

水の汚れを示す指標のひとつ。水に含まれる汚濁物質を化学的に酸化させるのに必要な酸素の量であり、数値が高いほど汚濁が大きいことを示す。



## ■シーバース

港の沖合にタンカーを係留し、海底パイプラインを経由して、貨物の積み揚げを行う沖合係留施設。

## ■試作サポーター四日市

市の機械関連の製造業者が集まり設立。企業から依頼された試作品作りに共同で取り組んでいる。

## ■自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織。日頃から災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には、被害を最小限に食い止めるための活動を行う。

## ■自助

自分の命は自分で守るということ。また、非常食や飲料水等の備えを自ら行うこと。

## ■シティセールス

「まち (CITY)」を「売る (SALES)」、つまり、「都市を売り込む」こと。自治体が都市の特色や魅力などを宣伝し、売り込むことによって、知名度やイメージを上げていくこと。

## ■姉妹都市

親善と文化交流を目的として特別に提携をした二国間の都市。友好都市ともいう。本市は、昭和 38 (1963) 年に米国ロングビーチ市と姉妹都市提携を結んでいる。

## ■市民農園

都市の住民が、自家消費用野菜や花の栽培

などの目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園。

## ■市民緑地制度

里山など民有緑地の保全と創出を図るため、地方公共団体などが、民有地の土地所有者と契約を結び、地域団体との協働により民有緑地の整備と維持管理を図り、一定期間その緑地を地域住民に公開する制度。

## ■渋滞ネック箇所

道路交通における渋滞箇所、主に市街地内の一般道路では、渋滞長 1000m 以上または通過時間 10 分以上の箇所をいう。

## ■集落営農組織

集落など地縁的にまとまりのある地域内の農業者が、一定の合意の下で、農業生産の一部あるいは全部を共同で取り組む組織のこと。例えば、転作田の団地化など地域内の土地利用調整を行ったり、機械の共同所有・共同利用による農業生産を行うなど、地域の実情に応じた様々な取組がなされる。

## ■循環型社会

廃棄物の発生を出来るだけ抑制し、廃棄物のうち有効なものを資源として再利用し、天然資源の消費をできる限り少なくして環境への負荷を出来る限り抑えた社会。

## ■障害者相談支援センター

障害のある方々が地域で安心して日常生活や社会生活が送れるよう、総合的な相談支援を行う。本市においては、全市域を対象としており、4 カ所の障害者相談支援センターで相談・支援に応じている。

### ■障害者手帳保持者

障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を保持している者のこと。

### ■親水空間

海岸や河川、湖などで水と親しめる空間。水とふれあうことができる空間や水辺の散歩みちなど。

### ■水源の涵養

森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を防止するとともに、川の流量を安定させる機能のこと。

### ■3R

Reduce（発生抑制（リデュース））、Reuse（リユース（再使用））、Recycle（リサイクル（再資源化））を指す。リデュースは、必要のないものは買わない、使い捨てのものなどゴミになりそうなものは使用しないなどごみの発生を抑制すること。リユースは、いらなくなったものを修理したりして、もう一度使うこと。リサイクルは、いらなくなったものを分別して集め資源として再利用すること。一般的なものは、新聞紙・ペットボトル、空き缶などのリサイクルである。

### ■生活習慣病

日頃の好ましくない生活習慣によってひきおこされる病気の総称。

### ■生活バスよっかいち

NPO 法人生活バス四日市によって運営されるコミュニティバス。従来の公共交通運営の仕組みとは異なり、地域住民が主体となり、地域企業等の協力（パートナーシップ）

を得ながら、地域が求める公共交通を企画・運営している。

### ■成年後見制度

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など精神的な障害があるため判断能力が不十分な人が、不利益を被らないよう、後見人等が契約等を行う制度。

### ■生物多様性

生命の豊かさを包括的に表した広い概念で、その保全は、食料や薬品などの生物資源のみならず、人間が生存していく上で不可欠の生存基盤としても重要である。反面、人間活動の拡大とともに、生物多様性は低下しつつあり、地球環境問題のひとつとなっている。

### ■操業環境

製造業をはじめとする事業所が立地する所の周辺の環境。

### ■総合型地域スポーツクラブ

「総合型」とは、3つの多様性（種目の多様性、世代や年齢の多様性、技術レベルの多様性）を包含していることを指す。総合型地域スポーツクラブは、こうした多様性を持ち、日常的に生活の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民個々のニーズに応じた活動が質の高い指導者のもとに行えるスポーツクラブであり、運動・スポーツをする側だけでなく、指導する側、運営する側と、いろいろな関わり方を持ち、性別、世代を超えて、クラブを中心に人と人とが豊かにつながり合う、地域の新しいコミュニティである。



## た 行

### ■多文化共生社会

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に支え合って暮らせる社会。

### ■段差のない教育

小1 プロブレム（入学したばかりの児童が「集団行動が取れない」、「授業中に座っていない」などの状態が数ヶ月間継続する現象）や中1 ギャップ（中学校に進んだ生徒が、小学校との環境の違いになじまず、不登校等が急増する現象）といった問題に目を向け、子どもの成長や発達に応じた指導方法の工夫や体制の整備を図り、学びや育ちの連続性を大切に教育を進めること。

### ■男女共同参画社会

男女共同参画社会基本法において、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」とされている。

### ■地域医療体制

地域住民が住み慣れた地域で必要な医療が受けられるよう、医療体制、地域の保健福祉・行政機関・住民・企業などが連携して取り組む総合的な医療体制。

### ■地域福祉権利擁護事業

認知症の症状が出始めた高齢者など、判断

能力が不十分な人に、適切な福祉サービスの利用を援助したり、日常生活での金銭管理等を支援する事業。

### ■地域包括支援センター

地域住民の健康の維持、福祉の向上のための必要な援助・支援を包括的に担う、地域の中核機関。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師の3職種のスタッフにより、介護予防マネジメント、包括的・継続的マネジメント、総合相談・支援、虐待防止・権利擁護を行う。

### ■地域防災力

個人あるいは地域自身が持っている災害に対処できる能力のこと。地域防災力の向上のためには、防災活動のリーダーの育成、消防団・自主防災組織の充実、地域の安全性の点検、企業の防災活動を推進することなどの対策が必要となる。

### ■地産地消

「地域生産-地域消費」の略語で、地域で生産された産物をその地域で消費するという考え方により行われている取組み。

### ■知的障害児通園施設

知的障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、これを保護するとともに、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設。

### ■超高齢社会

65歳以上の高齢者の占める割合が全人口の21%を超えた社会。

### ■DV（ドメスティックバイオレンス）

日本語に直訳すると「家庭内暴力」となる

が、一般的には「夫や恋人など親密な関係にある、またはあった男性から女性に対して振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。

### ■低炭素社会

深刻化する地球環境問題の克服に貢献するために、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出が少ない社会を実現させること。

### ■透水性舗装

雨水浸透施設の一つ。透水性アスファルト、透水性平板、透水性ブロックなどの空隙を有する透水性の材料で作られたもので、本体およびその目地を通して雨水を地表面より地中に浸透させる施設をいう。雨水浸透施設は、降った雨水を地中にしみ込ませ地下水とし、できるだけ下水道や河川に直接流さないための施設。

### ■同和問題

日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態におかれることを強いられ、今なお、日常生活の上でいろいろな差別を受けるなどしている我が国固有の人権問題。

### ■特定健診

生活習慣病予防のため平成 20 年度から始まった。市町村の国民健康保険や健保組合などが実施する。心筋梗塞や脳梗塞などのリスクが高まるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目している。健診結果により、必要な人は食事や運動などについての指導を受ける。

## な行

### ■認可外保育所

保育施設は、「認可保育所」と「認可外保育所」とに分類される。「認可保育所」とは、児童福祉法第 35 条第 3 項に基づき区市町村が設置を届け出た、または同条第 4 項に基づき、民間事業者等が都道府県知事の認可を受け設置した児童福祉施設。「認可外保育施設」とは、「認可保育所」以外の子どもを預かる施設（保育者の自宅で行うもの、少人数のものも含む。）の総称。

### ■農業法人

農業を営む法人の総称。制度上、会社の形態をとる会社法人、組合の形態をとる農事組合法人の 2 種類がある。

## は行

### ■発達障害

脳の機能的な問題が原因で起こるもので、初期の発達過程が阻害され、言葉、社会性、運動などの機能の獲得が障害された状態。

### ■ばら荷（バルク）

穀物、鉱石、油類、木材などのように、貨物がそのまま包装されずに船積みされるものをいう。最近では、コンテナ化できない貨物全般をいう場合が多い。これらのばら荷を輸送するには、ほとんどが専用船によって行っている。バルクカーゴ（Bulk Cargo）と呼んでいる。

### ■バリアフリー

建築設計において、段差や仕切りをなくするなど高齢者や障害者に配慮をすること。広



義では、高齢者や障害者などが社会生活を営む上でのさまざまな障壁（バリア）が除去された状態をいう。

## ■PM2.5

直径が2.5μm（マイクロメートル、1μm=1000分の1ミリメートル）以下の微小粒子状物質。以前は、直径が10μm以下の浮遊粒子状物質（SPM）について、環境基準が設定されていたが、PM2.5についても新たに環境基準が設定された。PM2.5は、気管支炎など、呼吸器への健康影響があると考えられている。

## ■BOD（生物化学的酸素要求量）

[Biochemical Oxygen Demand]

水の汚れを示す指標のひとつ。水中の微生物が水に含まれる汚濁物質を分解する際に消費される酸素量であり、数値が高いほど汚濁が大きいことを示す。

## ■美化ボランティア

道路・河川・海岸のゴミ拾いや草刈り、花植えなどの美化活動をボランティアで行う個人や団体。

## ■病診連携

病院と診療所（かかりつけ医）が患者の症状に応じて、役割や機能を分担しながら治療にあたる仕組み。

## ■プロモーション活動

製品やサービスに対する意識や関心を高め、購買を促進する活動。

## ■分区

臨港地区には、分区（商港区、工業港区、漁港区、特殊物資港区等）を指定すること

ができる。その区域において一定の目的を著しく阻害する構築物の建設などを制限することによって、その区域の港湾に関する利用の増進をはかることにより、各分区がそれぞれの機能に特化し、効率のよい港湾活動を実現するため指定される。

## ■防災資機材

災害時に必要となる機器や器具などをいう。人命救助や医療活動に使用する機材や、炊き出し・給水等に利用する機材など。

## ■防災リーダー

災害時に必要な調整や誘導などを行う、地域の自主防災活動の中心となる人。本市では、防災リーダーを育てるために、防災リーダー養成講座（四日市市防災大学）を開催している。

## ■訪問看護ステーション

訪問看護師等が療養生活を送っている人の自宅を訪問し、本人や家族の意思やライフスタイルを尊重して、生活の質が向上できるよう、療養上の世話や必要な診療の補助を行うサービスを提供する事業所。

# ま 行

## ■マッチング機能

需要側と供給側を引き合わせること。本計画では、地域福祉の場面において貢献したいと考えている方と支援を必要とする方を引き合わせることで、また、市民活動の場面において市民活動と人材を繋げることを指している。

## ■見守りネットワーク

本計画では、関係機関による高齢者の見守りに関する用語として使用している。本市では、平成19年4月に発足された「四日市市高齢者虐待防止ネットワーク会議」を更に強化した「四日市市高齢者みまもりネットワーク会議」を平成21年10月に発足し、様々な関係機関が連携しながら高齢者を総合的な視点で見守る体制づくりを進めている。

## ■モータリゼーション

市民が使用する乗用車による生活形態とトラック等の貨物自動車による流通形態を含めた総称。

## や行

### ■友好都市

親善と文化交流を目的として特別に提携をした二国間の都市。姉妹都市ともいう。本市は、昭和55(1980)年に中国天津市と友好都市提携を結んでいる。

### ■ユニバーサルデザイン

バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア(障壁)に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

### ■要介護・要支援認定者

要介護・要支援認定を受けた人を指す。介護保険のサービスを利用するには、要介護・要支援認定を受ける必要があり、認定調査と主治医の意見書をもとに介護認定審

査会で認定を行う。要支援1・2の認定を受けた人は介護予防サービスを、要介護1~5までの認定を受けた人は介護サービスを利用できる。

## ら行

### ■ライフライン企業

電気、水道、ガス等の生活に必須なインフラ設備を供給する企業。被災時には、電気、水道、ガス等のインフラの早期復旧、また輸送のための交通ルートの確保が必要となるため、大規模な被害に備えて日ごろよりライフライン企業等と連携・協働を図る必要がある。

### ■臨床心理士

文部科学省認可の財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する民間資格、およびその有資格者のこと。臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の「こころ」の問題に対し相談や支援を行う。

## わ行

### ■ワンストップ

1カ所で業種や管轄の異なった複数のサービス利用や手続きを完了できること。たとえば、1つの相談窓口で関連するさまざまな相談に対処できること。